

News Release

第48回 全国フロントマン選抜技術競技会の結果について 福岡県の花田 将宗さん〔社名 株式会社 宗像オート整備工場〕が最優秀賞を受賞

J A 共済自動車指定工場協力会〔愛称：J A R I C（ジェイエリック）／事務局：J A 共済連全国本部自動車部〕主催の第48回全国フロントマン選抜技術競技会が11月7日（金）にJ A 共済 幕張研修センターにて開催され、以下の通り、最優秀賞1名をはじめ、優秀賞2名、敢闘賞2名が決定しましたのでお知らせします。

◇最優秀賞

福岡県 花田 将宗（はなだ まさむね） 株式会社 宗像オート整備工場

◇優秀賞

島根県 岩田 直也（いわた なおや） 有限会社 加茂自動車工業

福井県 松本 晶利（まつもと あきとし） 有限会社 松本自動車工業

◇敢闘賞

熊本県 田口 潤一（たぐち じゅんいち） 有限会社 旭車体

佐賀県 渕野 隆彦（ふちの たかひこ） 株式会社 カークリエイティブチノ

■ J A R I Cと全国フロントマン選抜技術競技会について

J A R I Cは、J A・J A共済連と自動車修理工場の相互による発展を目的とした組織で、現在、全国で約1,600の工場が加盟しています。その中でフロントマンは工場の代表者としてドライバーの相談窓口になるとともに、工場内においては作業指示者、作業工程管理者などの役割を担っています。

J A R I Cでは、フロントマンの更なる技術向上を図り、優良かつ迅速な修理を行うことを目的に、昭和49年から「全国フロントマン選抜技術競技会」を実施しています。出場資格は、各県域大会の成績優秀者で、本年は全国から12名の精鋭フロントマンが出場しました。

■ 2種類の見積作成と学科競技を実施

競技会では、「フロント部損傷車」と「リヤ部損傷車」という損傷個所が異なる2台の事故車両を使用しました。選手は制限時間内に損傷個所やその程度、工賃などを確認し、「フロント部損傷車」は専用のアプリケーションソフトを用いて、また「リヤ部損傷車」は手書きで見積書を作成しました。さらに、フロントマンとして求められる自動車の構造や損傷診断技法などの知識を問う学科競技も実施しました。

選手が作成した見積書や答案は、11月17日（月）に全国技術アジャスター協会の平林 康男会長をはじめとする5人の審査員が内容を精査し、正確性や妥当性を総合的に評価しました。

■ 第 48 回全国フロントマン選抜技術競技会 大会概要

○ 開催日時

令和 7 年 11 月 7 日（金） 12：30～17：30

○ 競技会場

J A 共済 幕張研修センター（千葉県千葉市美浜区若葉 3－2－8）

○ 競技参加者

各都道府県の指定工場に勤務し、当競技会開催年度に開催された各都道府県本部主催によるフロントマン選抜競技会において優秀な成績を収めた 12 名が参加。

○ 競技内容

1. 事故車両の損害見積

- ・フロント部損傷車

制限時間 80 分、専用のアプリケーションソフトで見積書を作成し見積精度を競う。

- ・リヤ部損傷車

制限時間 110 分、手書きで見積書を作成し見積精度を競う。

2. 学科競技

制限時間 30 分、自動車修理に必要な知識が問われる問題が出題、正答数を競う。

○ 審査について

11 月 17 日（月）に実施された審査委員会により、優秀者を選出。

■ 開会挨拶（要旨） J A 共済自動車指定工場協定会 高間 専逸会長

今年度も多くの選手にご参加いただいたことに感謝申しあげる。J A R I C としては、今後も価値ある競技会となるよう、しっかりと取り組んでいきたい。契約者のニーズに応え、修理を通じて信頼されることが何より大切だと考えている。日頃の技術の成果を十分に発揮し、有意義な 2 日間にしてほしい。

■ 審査講評（要旨） 平林 康男審査委員長（全国技術アジャスター協会会長）

配付資料を読み込んでから実車を確認するという一連の流れが良く、全体像を的確に把握できていた。見積りの基礎はしっかりとできており、全体としてレベルの高い競技会であったと考えている。一方、見積りソフトの使い方には、まだ改善の余地があり、今後の更なるスキルアップにつなげていただきたい。



高間 専逸会長



平林 康男審査委員長

<当日の写真>



第48回全国フロントマン選抜技術競技会 出場選手(集合写真)



見積競技風景(フロント部損傷車)



見積競技風景(リヤ部損傷車)

以上